令和８年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第６学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・文章を読んで理解したことを基に、自分の考えをまとめること。 ・複数の資料から必要な情報を選び、自分の考えの根拠として分かりやすく表現すること。	・読み取った内容を基に、ペアやグループで考えを伝え合い、他者の意見を参考にしながら考えを深める対話的な学習を充実させる。【対話】 ・「資料から分かること」「そこから考えたこと」「自分の意見」という思考の流れを示し、表現の仕方をモデル化する。【表現】		
社会	・社会的事象について根拠を基に自分の考えをまとめ、分かりやすく伝えること。 ・学習を振り返り、自らの学びや課題を次の学習に生かすこと。	・社会的事象について考えたことを説明したり、資料を根拠として意見交流したりする活動を位置付け、自分の考えを表現することができるようにする。【対話・表現】 ・単元や授業の終末に、学習前後の考えの変容や新たな課題を整理する振り返りの場を設定し、自らの学びを自覚することができるようにする。【決定・表現】		
算数	・文章の場面を捉え、基準量と比較量を正しく判断して立式すること。 ・既習事項とのつながりを捉え、見通しをもって問題解決に取り組むこと。	・数直線や４マス関係表を書くように指導する。比例関係を見つけ出して式から考えさせることで立式できるようにする。【表現】 ・授業の導入で前時までの学習や既習事項を確認し、本時の課題とのつながりを児童が捉えられるようにする。【発見】		
理科	・生活体験や既習事項を基に予想を立て、観察や実験の計画を立てること。 ・観察や実験の結果を根拠として、生活経験や既習事項と関連付けながら考察すること。 ・学習した知識を整理し、活用すること。	・既習事項の振り返りをしたり、自然事象についての共通体験を行わせたりする。また、意見交流の場を設定して、自らの考えを深め、学びを広げられるようにする。【発見・対話】 ・単元相互のつながりを意識して授業を構成し、考察の視点や表現例を示すことで、結果を基に自分の考えをもてるようにする。【表現】		
音楽	・音楽の要素と感じたことを結び付けて鑑賞すること。 ・友達の声を聴きながら、響きを合わせて歌うこと。	・鑑賞だけではなく、歌唱や器楽の活動でも音楽の要素に注目させ、楽譜から読み取れる情報の知識を身に付けるようにする。【発見・対話】 ・声の質がそろうように、和音での重なりを意識するような楽曲に取り組ませ、自分たちで美しいハーモニーをつくる活動を行う。【発見・表現】		
図画工作	・自分の表現したいことを考え、主体的に表現すること。 ・既習の技能や経験を生かし、よりよい表現を工夫すること。	・参考作品の鑑賞やデジタル教科書、タブレッ端末の活用を通して、自分の表したいことを具体的にイメージできるようにする。【発見・決定】 ・今まで経験してきた技法や表現をふりかえり、自分にあった表現を選択できるようにする。【発見・表現】		
家庭	・調理や製作に必要な基本的な技能を身に付けること。 ・学習したことを生活に結び付けて活用すること。	・個別で対応したり、視覚的な資料や板書の工夫で知識を補ったりしつつ、児童同士で教え合う場面を設けて技能の習得を図る。【対話・表現】 ・一つ一つの学習が実生活にどう結び付くのかを実例を挙げて示したり、話し合ったりする中で実感させる。【発見・決定】		
体育	・友達との対話を通して技能の向上を図ること。自己の技能や課題を把握し、適切な練習方法を選択すること。	・技能のポイントを整理し、見合ったりアドバイスしたりする内容が児童間で共有できるように支援する。【対話】 ・グループ活動やペア活動の時間を増やし、意見交換の中で自身の目指すことが明確になるようにする。【対話・発見】		
外国語	・音声や文字、語彙、表現について理解し、コミュニケーションの中で活用すること。 ・既習の表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えること。	・学習した語彙や表現を繰り返し活用できる活動を設定し、相手意識や目的意識をもってやり取りする場面を充実させることで、知識を実際の会話に活用できるようにする。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。